施策5
「みんなでつくる市民参加のまちづくり」

（新）は新規事業

主な事業

【市民参加】

（新）まちづくり推進事業	5,352万円
（市民まちづくり推進室の設置：広報・広聴、まちづくり学習（市民大学講座など）、市民ボランティアセンター、男女共同参画推進、国際交流（在住外国人との共生、ダボ市などとの交流）	

【窓口行政・事務処理】

ＩＳＯ9001認証の維持・改善	410万円
第三次行政改革大綱の策定	252万円
戸籍総合システム事業（戸籍の電算処理化）	2,730万円
住民基本台帳ネットワーク	709万円

市民参加事業では、市民の目線で、まちづくりを考え、推進する窓口として「市民まちづくり推進室」を企画部に設置します。

ここでは、広報・広聴をはじめとして、男女共同参画社会の推進、ボランティアセンターの運営、まちづくり生涯学習の推進、在住外国人との共生を含めた国際交流事業など、市民のみなさんとのパートナーシップによる施策を推進します。

姉妹都市提携13周年と中高生約130人の交流派遣実績などを考慮し、今年度、ダボ市のエリザベスパークへ日本庭園を寄贈します。

また、新しい時代にふさわしい行政の在り方を示した「第三次行政改革大綱」を策定するとともに、昨年度取得したＩＳＯ９００１の維持・改善により一層の市民サービスの向上と、継続した業務改善に努めます。

また、市は、平成16年度に市制50周年を迎えます。

今後、市民のみなさんとともに、市民参画型の市制50周年行事を検討していきます。

▲ 多彩な人たちによる講演「市民大学講座」は、毎回好評です。

▲ 「第三次行政改革大綱」の最終答申
業務改革と透明性の確保
行政組織の構造改革
財務体質の健全性維持
を柱とした具体的な最終答申が今年度中にまとめられます。
（昨年10月には、「中間答申」が、行政改革懇談会（堀部会長）から川合市長へ）

「出前講座」

▲ 「市長と語ろう21世紀を」（広報・広聴）